

「全国専修学校各種学校総連合会 第53回北関東信越ブロック大会」に
栃木県専修学校各種学校連合会会員校の教職員が参加しました。

8月23日（水）の午後1時から、構成県の茨城、栃木、群馬、長野、
新潟県の専修学校各種学校連合会（専各連）の関係者117名が、茨城県水
戸市内のホテルレイクビュー水戸に集い、第53回北関東信越ブロック大
会を盛大に開催することができました。

栃木県専修学校各種学校連合会からは、石川理事長をはじめ連合会役員
や会員校の教職員23名が参加しました。

開会セレモニーでは、大会の幹事県である八文字^{やつもんじ}会長（茨城県専各連）
やブロック会長の小倉会長（群馬県専各連）、そして全国専修学校各種学
校総連合会（全専各総連）の福田会長の挨拶の後、来賓の文部科学省、自
由民主党専修学校等振興議員連盟の赤池誠章参議院議員、茨城県、水戸市
の皆様からご祝辞をいただきました。

大会では、産業医の平井康仁先生から「生きづらい若者社会とメンタル
ヘルス」と題した基調講演があり、「今時の若者は、うたれ弱くストレス
に弱い、社会性に乏しく、指示待ちでマニュアル至上主義であるという特
徴を理解して、肯定的に接することが良好な関係を築くポイントとなる」
というお話が大変参考になりました。

その後の活動報告では、文部科学省や全専各総連からの報告に続き、各
県の行政担当者から「行政施策報告」がありました。栃木県からは県経営
管理部文書学事課の石井課長補佐が、①専修・各種学校の状況や②中高生
卒業後の進路状況、そして、③県からの助成状況について報告しました。

最後に、大会決議案が審議され、国及び県等の行政機関に対して、これまでの各種支援等の継続を基調にしつつ、4つの事項について強く要望する旨をこと盛り込んだものを参加者全会一致で決議して、大会は無事終了しました。

なお、来年度の大会については、次期幹事県となる新潟県専各連の荒井会長から、令和6年8月21日（水）午後開催予定である旨の発表がありました。



開会セレモニーの様子(挨拶者は小倉会長)



ブロック各県専各連の代表者の紹介
(左から2人目が石川理事長)



会場には大勢の参加者(手前は栃木県参加者)



栃木県の行政施策報告を行う石井課長補佐